



学校教育目標：心豊かで自ら学びたくましく生きる子どもの育成



東っ子の心を見つめる共育旬間



学校開放旬間2週目に入りました。子ども達は、様々な人との関わり合いの中で、育てて頂いています。

6月14日(水)には、『さくらの学校』を開催します。これは、故郷の先輩であられる地域の方々に「先生」になって頂き、様々な体験活動を通して、伝統・文化や素晴らしい技術、生きる知恵等を学ぶ活動です。今年度は右記の7つの教室を開催します。

子ども自身が、見たり、体験したりする過程に、考えることや工夫すること、協力することなど、目には見えない事柄を学ぶ機会があります。

体験の中で、子ども自らが、自分で考える、自分で決める、自分で行動するという経験が大切です。子どもはその活動の中で、『自ら学び、成長する力』を持っているのです。地域の皆様方に、そんな学びの場を提供して頂いています。

- 茶道(裏千家)・・・講師：堤 幸子 様
- 焼き物・・・講師：谷渡 美智雄 様
- 竹細工・・・講師：西川 輝昭 様
- 古代文化・・・講師：大信技術開発
中島 様・吉永 様
- お菓子作り・・・講師：勢良 二女 様
- 日本舞踊・・・講師：安村 幸子 様
- 生け花・・・講師：田中 瑞代 様

ご協力・ご支援ありがとうございます。



今年度も東風、やよいの会の方々による水曜日、朝の「読み語り」が始まり子ども達は楽しみにしています。毎週、朝のお忙しい時間での活動、ありがとうございます。6月15日(水)には、「こころ」をテーマに1時間の「東風読み語り会」も実施されます。ますます読書好きの子どもが増えそうです。



今年も5年生が米作りに取組みます。教育旬間中ではありませんが5月25日(水)には「下亀中山間地域」の方々が指導してくださり、稲の種蒔を行いました。まずは種籾の選別を塩水を使って行い、底に沈んだ中身の充実した種籾を使います。塩水の比重を測るのに生卵を使うなど大変興味深い活動でした。6月下旬の田植えや秋の稲刈りが楽しみです。



学校内部でも様々な職員が教育を支えています



左の写真は、1階西トイレ前の生け花です。校舎内のあちこちにきれいな花が美しく飾ってあります。美しい環境は子どもの心を育てる情操教育には欠かせません。用務員の山本さんがいつも美しく飾ってくださいます。右の写真は児童玄関の靴箱の前の掲示板です。毎朝、教頭先生が子ども達へのコメントを書いています。登校してきた子ども達が一番初めに目にする所です。子ども達はその日の行動の指針やめあて、意欲を高めるようなコメントを読み、励まされ、学校での一日をスタートしています。

